

## (13) 書写教育研究会

会 長 藤倉 千秋 (中筋小学校)  
副会長 黒田 健二 (蕨岡中学校)  
事務局 濱口 真由美 (中筋小学校)

### 1. 研究主題 「教育活動に活かす書写教育」

### 2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場	備考
令和元年 5月8日(水)	四万十市教育研究会 組織総会 内容：役員選出, 研究主題設定, 年間計画	中村南小学校	16名参加
8月20日(火)	四万十市教育研究会 夏季研修会 内容：大筆でスキルアップ 講師：小花 典明所長 (四万十市教育研究所)	中筋小学校	15名参加
10月2日(水)	四万十市教育研究大会 内容：小筆でスキルアップ 講師：小花 典明所長 (四万十市教育研究所)	中筋小学校	15名参加

### 3. 今年度の取り組み

今年度も教育研究所の小花所長をお願いをして「教育活動に活かせる書写教育」という研究主題のもと研究を進めた。指導者が自由な発想で児童・生徒とともに書写を楽しめるよう、大筆、小筆を使ってできる方法を習った。

#### 「大筆でスキルアップ」

児童・生徒が普段使う大筆で新聞に自由に字を書いたり、普段触る機会がない書道パフォーマンスで使う大きな筆で、大きな模造紙に好きな文字を自由に書いたりすることを体験した。



### 「小筆でスキルアップ」

色紙に小筆でメッセージを書き、色鉛筆で挿絵を描いて一人ひとりが作品を仕上げた。



#### 4. 今年度の成果と課題

- ・毎日筆を持つことの大切さを感じた。
- ・筆で書くことは苦手だが小花先生がほめてくれるので、思い切って好きなように書くことができた。
- ・いつもお手本を見て書くことばかりだったが、自由に強弱をつけて書くことを知って楽しく書けた。
- ・みんなから刺激を受けることができた。
- ・集中して、日々の忙しさを忘れさせてくれる時間だった。
- ・リフレッシュできた。
- ・大きい筆を初めて使ってドキドキ感が味わえたとし、いい経験になった。
- ・大筆の実技も小筆の実技も、終わった後は気持ちがすっきりできた。
- ・小筆で色紙に書いたときは、誰かを思い浮かべて書くことができて楽しかった。
- ・筆の字が上手く書ける教師になりたいと思って書写サークルに入り、心に残ることばにふれることができた。
- ・ふだん筆でさっと書ける大人になりたいと思う。
- ・お店で「筆を見てみたい。」という気持ちになった。
- ・何歳になっても新しい出会いがあることを感じた。
- ・子どもたちと一緒にできそうなことがあったのでぜひやってみようと思う。